

基本事業13106 障がい者の権利擁護と社会参加環境づくり

(主担当：地域保健課)

主な取組内容

1. 精神障がい者の社会復帰の促進と自立、社会参加を目的に精神保健福祉相談及び訪問指導等を実施しています。
2. 精神障がい者の家族が、疾患についての知識や理解を深めるとともに、お互いの交流を図り、日頃の悩みを話し合いながら支え合う体制づくりの強化に努めます。

1 精神障がい者社会復帰推進事業

(1) 危機予防・危機介入

ア 処遇困難事例への対応（ケア会議）

措置入院患者の退院後のサポート体制、また処遇困難事例のサポート体制をつくることを目指し重点的に取り組みました。

ケア会議の実績 実人員26人 延べ41人

イ 桑員地域精神保健福祉連絡会議の実施

日 時：平成29年2月24日

場 所：桑名庁舎

参加者：警察署（桑名、いなべ、四日市北、四日市西）、消防署（桑名、四日市、菰野）
精神科病院（北勢、東員、大仲さつき、多度あやめ）、障がい者総合相談支援センターそういん、市町（桑名、いなべ、木曾岬、東員、菰野、朝日、川越）

内 容：各機関の現状報告と意見交換を実施。それぞれの役割を理解するとともに、危機介入時に連携し、スムーズに対応ができるように話し合いを行いました。

(2) 地域支援体制（ネットワーク）の整備

ア 地域家族会（しぐれ会）への支援

①総会への参加

日 時：平成28年5月21日（土）

場 所：桑名市総合福祉会館

実施主体：桑名しぐれ会

イ 桑員地域自立支援協議会地域生活移行促進部会（NEX）運営の支援

①定例会 5回参加

②地域移行に関する研修会

目 的：主に病院職員に対する地域移行・地域定着支援事業の普及啓発

日 時：平成29年3月17日（木）18：00～20：00

場 所：東員町保健福祉センター

講 師：三重県障がい福祉課 精神保健福祉班 班長 牧戸 貞

三重県立看護大学看護学部地域在宅看護学兼地域交流センター助教 伊倉 一政

参加者数：62名